

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員10名に対し、 指導訓練室が40㎡以上確保できているか	8			職員の人数を合わせると狭さを感じる。今より広さを確保できるといい。 →より広く活動場所が取れるよう、スペースの有効活用ができるよう検討している。
	2	職員の配置数は適切であるか	8			
	3	事業所の設備等について、子どもが怪我をしないよう適切に配慮がされているか	8			危険と思われる場所は都度改善している。 ヒヤリハットが出た場所等については職員が共有し、その都度改善を実施している。
	4	設備等へ安全を配慮した措置がなされているか？（電灯やガラスの飛散防止・柱へ衝撃吸収材の取付・階段手摺など）	8			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	1		担当する職員が業務に関わることで話し合っている。→全職員が共通理解ができるように努力する。
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	8			
	7	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			コロナの影響で実際に出向く研修は減っているが、WEBでの研修を受講し共有している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7		1	担当ではないので分からない。 →担当職員が6ヶ月に1回アセスメントを行い、計画書を作成している。常に全職員が確認できるようになっている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントシートを使用しているか	7	1		担当ではないので、分からない。→共通理解ができるように職員間の情報共有が常にできるよう努力する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	8			
	13	活動場面ごとに課題を決め支援しているか	8			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			
	15	支援開所前には職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			
	16	支援終了後には、職員間で打合せを行い、その日行われた支援を振り返り、気づいた点を共有しているか	8			気付いた点がある際は都度共有している。 また支援終了後ではないが、会議時にも共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7		1	担当が実施しているので、詳細は分からない。→共通理解ができるように職員間の情報共有が常にできるよう努力する。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組合せて支援を行っているか	7		1	ガイドラインについて勉強不足な為 →業務内でも研修や勉強時間を作りながら、個々がスキルアップできるような環境を作る。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1		担当者が実施しているので、詳細は分からない。→共通理解ができるように職員間の情報共有が常に行えるよう努力する。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3	3	現在受け入れがなく、対象となる児童がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	1		担当ではないのでよく分からない。 →就学前の幼稚園や保育園、またサービス事業所等とは情報共有が難しい現状ではある。相談支援員がいらっしゃると以前の状況がわかりやすいので、なるべく相談支援員をつけていただくように保護者には話をしている現状。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	1	2	担当ではないのでよく分からない。→全職員が共通理解ができるように努力する。 該当児がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2		よく分からない。→全職員が共通理解ができるように努力する。 担当者から情報共有として話を聞いている。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8			
保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			
	32	個人情報に十分注意しているか	8			
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			絵カードをより増やして、工夫できることはある。 →話し合いの上、よりよい配慮ができるよう心がけていく。
	34	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	2	2	コロナ渦で外部との接触や受け入れができない状況。例年、三郷市の交流会イベントに参加している。
	35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8			

非常時等の対応	36	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			
	37	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			
	38	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、サービス計画に記載しているか	7	1		担当業務外の為分からない。 →都度保護者と相談し、該当する場合がある際は説明をし、記載をしている。 また全職員が計画書を確認できるようにはなっている。
	39	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7		1	医師の指示書があるかは分からない。→現在、特に医師の指示が必要な重度なアレルギー症状がある児童はいないが、医師の指示書が必要か否かは保護者へ確認をしている。 食物アレルギーに関しては医師からの指示を保護者から連絡を受け、対応している。
	40	ヒヤリハット記録を作成して事業所内で共有しているか	8			

こどもプラス三郷中央教室 2021年